

# 海外における事業展開と ファイナンスの状況

2011年9月2日

住友化学株式会社

経理室(財務)部長 近藤 憲二

# 会社概要

会社名	住友化学株式会社
創業	1913年 9月22日 (住友肥料製造所としてスタート)
設立	1925年 6月 1日 (株式会社住友肥料製造所に変更)
資本金	89,699百万円 (2011年3月31日現在)
本社所在地	東京都中央区新川2丁目27番1号 東京住友ツインビル東館
主要国内事業所	愛媛工場・千葉工場・大阪工場・大分工場・三沢工場
従業員数(連結)	35,961名 (2011年3月31日現在)

## 2010年度業績(連結)

売上高	19,824億円
経常利益	841億円
当期純利益	244億円

# 住友化学グループの事業

豊かな明日を支える 創造的ハイブリッド・ケミストリー

## 事業領域

基礎化学部門



石油化学部門



情報電子化学部門



健康・農業  
関連事業部門



医薬品部門



# 基礎化学部門 主な製品

## メタクリル樹脂

合成樹脂の中でも抜群の透明性と耐候性、美しい光沢を持っています。自動車のテールランプや照明、看板、水族館の水槽、液晶ディスプレイの光学部品などに、幅広く使用されています。



メタクリル樹脂で作られた水槽

## アルミナ

99.99%以上の純度の高純度アルミナや低ソーダアルミナを供給しています。高純度アルミナは、次世代照明光源として期待されるLEDの基板となるサファイアや、リチウムイオン二次電池部材、半導体製造装置のセラミックス製部材などに、低ソーダアルミナは、液晶ディスプレイ用ガラスやICパッケージ、自動車プラグなどに使用されています。



アルミナ粉末とアルミナを使用した製品

## カプロラクタム

代表的な合成繊維の一つであるナイロンの原料で、衣料品やカーペットなどのインテリア製品、タイヤコードなどに使われています。また、紡糸しないナイロンは、樹脂として、自動車、電気製品、食品包装用フィルムなど、多岐にわたり使用されています。



カプロラクタムとナイロン製品

## アルミニウム

ニュージーランド、インドネシア、オーストラリア、ブラジルでのアルミニウム開発プロジェクトで生産されるアルミニウム地金を輸入し、国内に安定的に供給しています。高純度アルミニウムは、99.99%以上の純度を有し、アルミニウム電解コンデンサー用箔や液晶ディスプレイ、半導体の配線材料など、高機能分野で使用されています。



アルミニウム地金

## レゾルシン

タイヤや木材用の接着剤、難燃剤や紫外線吸収剤の原料として使用されています。



レゾルシン

# 石油化学部門 主な製品

## ◆ ポリエチレン

柔軟性があり、耐水性・耐薬品性が高く、加工性に優れた合成樹脂です。ラップフィルムや食品用チューブなどの包装材や電線被覆、農業用ハウスに使われるフィルムなどに、幅広く使用されています。



ポリエチレンを用いて作られたさまざまな製品

## ◆ ポリプロピレン

軽量で加工性、耐久性、耐熱性、耐薬品性など多くの優れた特性をもつ合成樹脂です。自動車のバンパーやインストルメントパネル、食品用トレイ、家電、医療器具などに、幅広く使われています。



ポリプロピレンで作られた自動車のインストルメントパネル

## ◆ プロピレンオキサイド

ポリウレタンやプロピレングリコールの原料に使われます。ポリウレタンは断熱材やクッション材に、プロピレングリコールは医薬品や化粧品に使用されています。

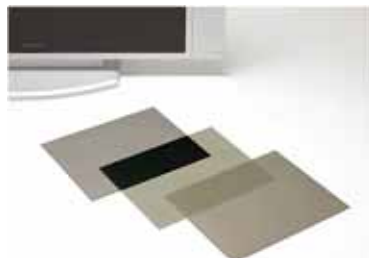


プロピレンオキサイド製造プラント

# 情報電子化学部門 主な製品

## 偏光フィルム

分子軸方向の光を吸収し、直角方向だけの光を透過する機能を有する、液晶ディスプレイには不可欠な部材です。



偏光フィルム

## フォトレジスト

半導体やプリント基板に高密度・高集積の回路パターンを作る工程で使われる感光性樹脂です。



フォトレジスト

## スーパーエンジニアリングプラスチック

耐熱性や強度、薄肉流動性に優れ、電子部品などの電気・電子用途に用いられる高性能樹脂です。軽量化・微細化の要求に耐えうる材料として用途拡大が進む液晶ポリマー (LCP) や、電子部品のほか炭素繊維複合材料として航空機用途に使用されるポリエーテルサルホン (PES) などがあります。



スーパーエンジニアリングプラスチック



スーパーエンジニアリングプラスチックを用いて作られた電子部品



# 健康・農業関連事業部門 主な製品

## 農薬

農作物、樹木、牧草などに被害をもたらす多くの種類の害虫に効果を発揮する殺虫剤や、水稲用・大豆用など作物に応じた除草剤、農作物の病気や土壌病害を防止する殺菌剤などを取り扱っています。また、環境保全型農業の広がりを背景とした多様なニーズに対応するため、生物農薬なども含めた幅広い製品を供給しています。



農業用殺虫剤や除草剤などの各種農薬製品

## 生活環境用製品

蚊取り線香、電気マット、液体蚊取り、エアゾールなどに用いられるピレスロイド系薬剤や、衣料用防虫剤用薬剤、シロアリ用薬剤などを製造・販売しています。



当社製品が使われている家庭用殺虫剤

## 感染症対策製品

マラリアを媒介する蚊から身を守るための蚊帳「オリセット®ネット」や、蚊の幼虫向けの殺虫剤など、感染症予防の製品を製造・販売しています



「オリセット®ネット」

## 飼料添加物

主に養鶏に用いられるメチオニンを製造・販売しています。メチオニンは必須アミノ酸の一種であり、飼育対象動物の成長を促進する働きがあります。



飼料添加物DL-メチオニン、メチオニンヒドロキシアナログ

## 医薬原体・中間体

高度な有機合成技術と品質保証体制をベースに、医薬原体・中間体の受託開発と、独自製法にもとづく医薬原体の製造・販売を行っています。



医薬原体リドカイン

# 医薬品部門

住友化学の医薬品事業は、高度な有機合成技術を基盤に、日本で初めて合成医薬品を製造したことに始まります。現在は医療用医薬品事業を中心とする大日本住友製薬(株)と、診断用医薬品を中心とする日本メジフィジックス(株)の両社を軸に事業を展開しています。

## > 主なグループ会社

### 大日本住友製薬(株)

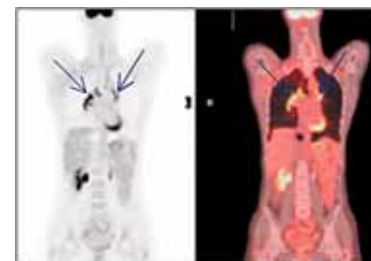
循環器・糖尿病、精神神経、癌・感染症を重点領域として、「アバプロ®」(高血圧症治療剤)、「ロナセン®」(統合失調症治療剤)、「プロレナール®」(末梢循環改善剤)、「トレリーフ®」(パーキンソン病治療剤)、「ミリブラ®」(肝細胞癌治療剤)などを販売しています。また、2009年10月に買収した米国医薬品会社を中心に、新製品「ルラシドン」(統合失調症治療剤)の発売に向けて体制を構築するなど、海外展開に積極的に取り組んでいます。



大日本住友製薬(株)で開発された製品

### 日本メジフィジックス(株)

主に心臓病、脳血管疾患や悪性腫瘍の早期診断に重要な役割を担う、核医学診断用放射性医薬品および関連製品のトップメーカーです。悪性腫瘍の早期診断に有用なPET検査用診断薬の供給にとどまらず、前立腺がんの小線源療法に用いられる放射線治療用医療機器「オンコシード®」や、がんの骨転移痛を和らげる放射性医薬品「メタストロン®注」など、治療分野の事業にも取り組んでいます。さらに2009年には、早期乳がんや悪性黒色腫(メラノーマ)のリンパ節転移の確認検査に用いられる医療機器「センチプローブ®」を発売しました。

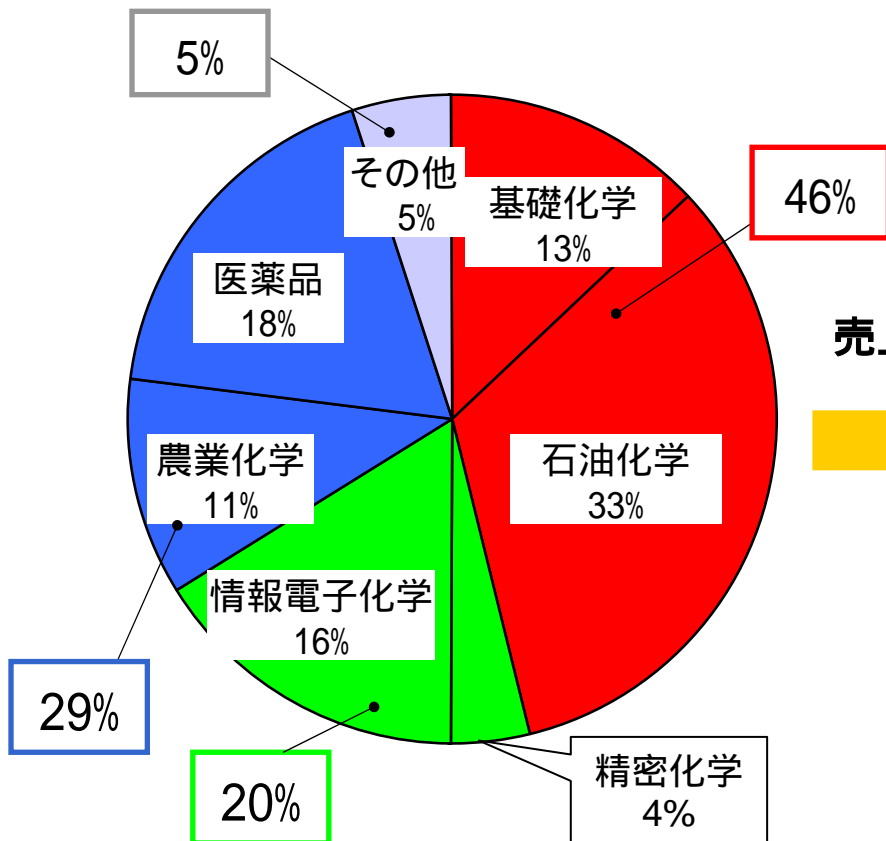


PETによる乳がん肺転移例画像

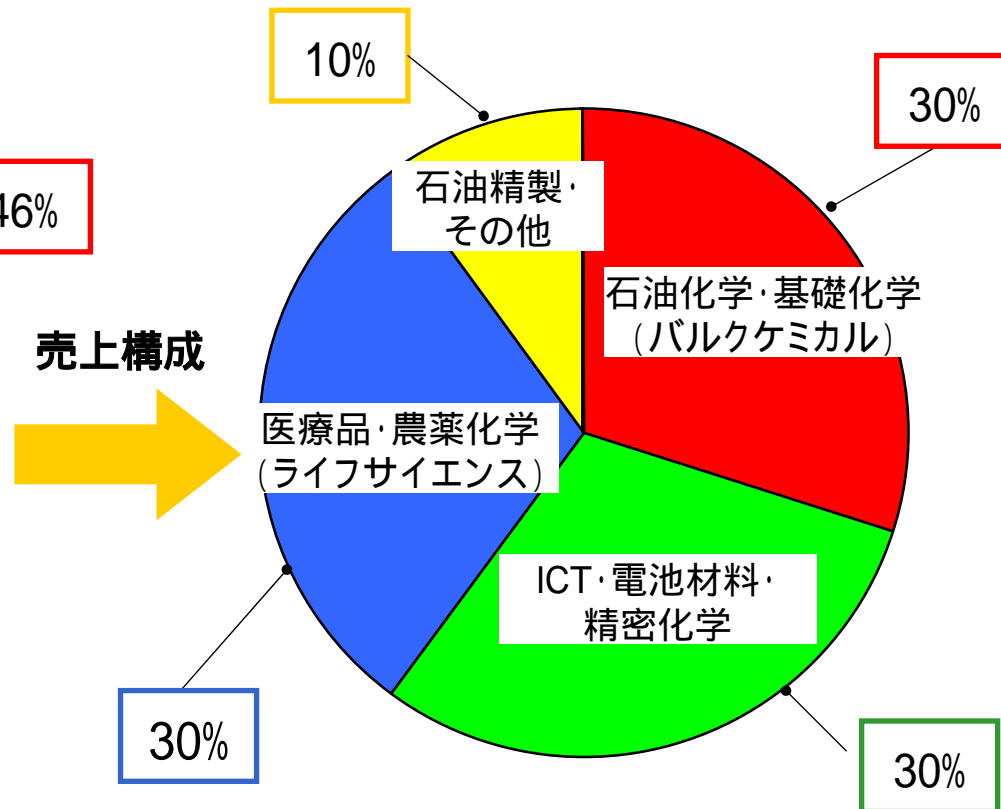


# ポートフォリオ戦略

2010年度実績

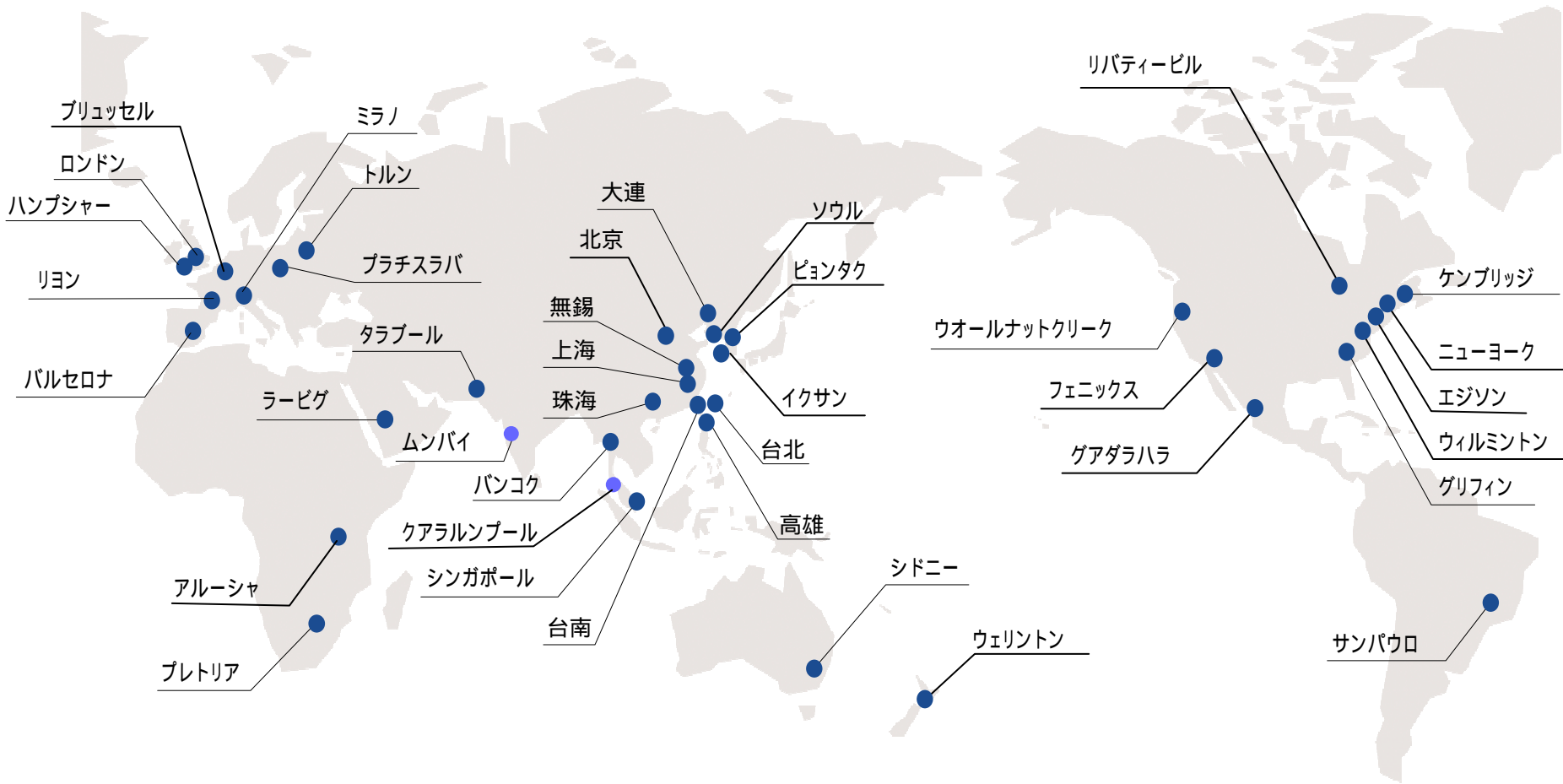


2020年度に目指すべき事業構成



2011年4月1日付で「精密化学部門」を廃止し、「農業化学部門」を「健康・農業関連事業部門」に改称

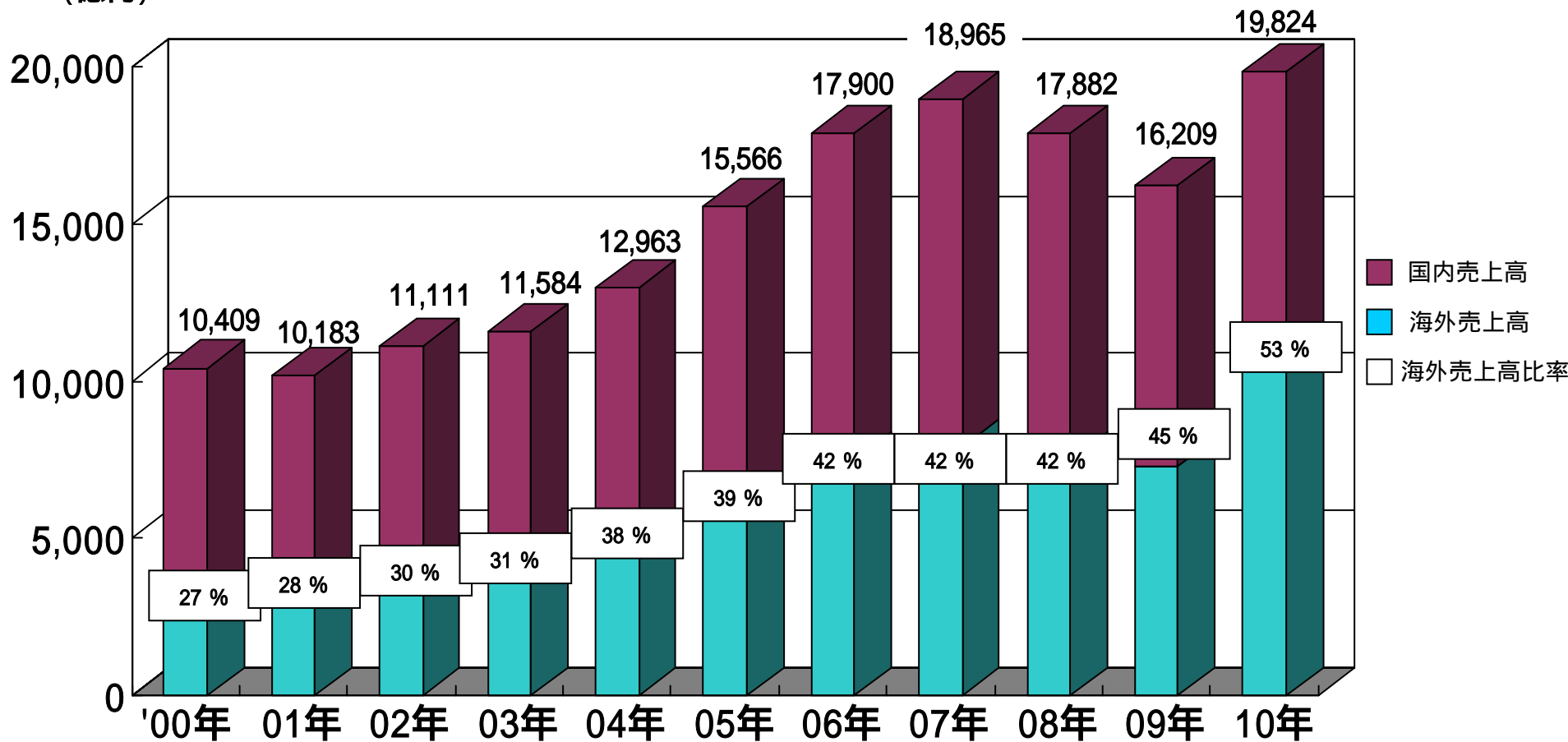
# 住友化学グループの海外ネットワーク



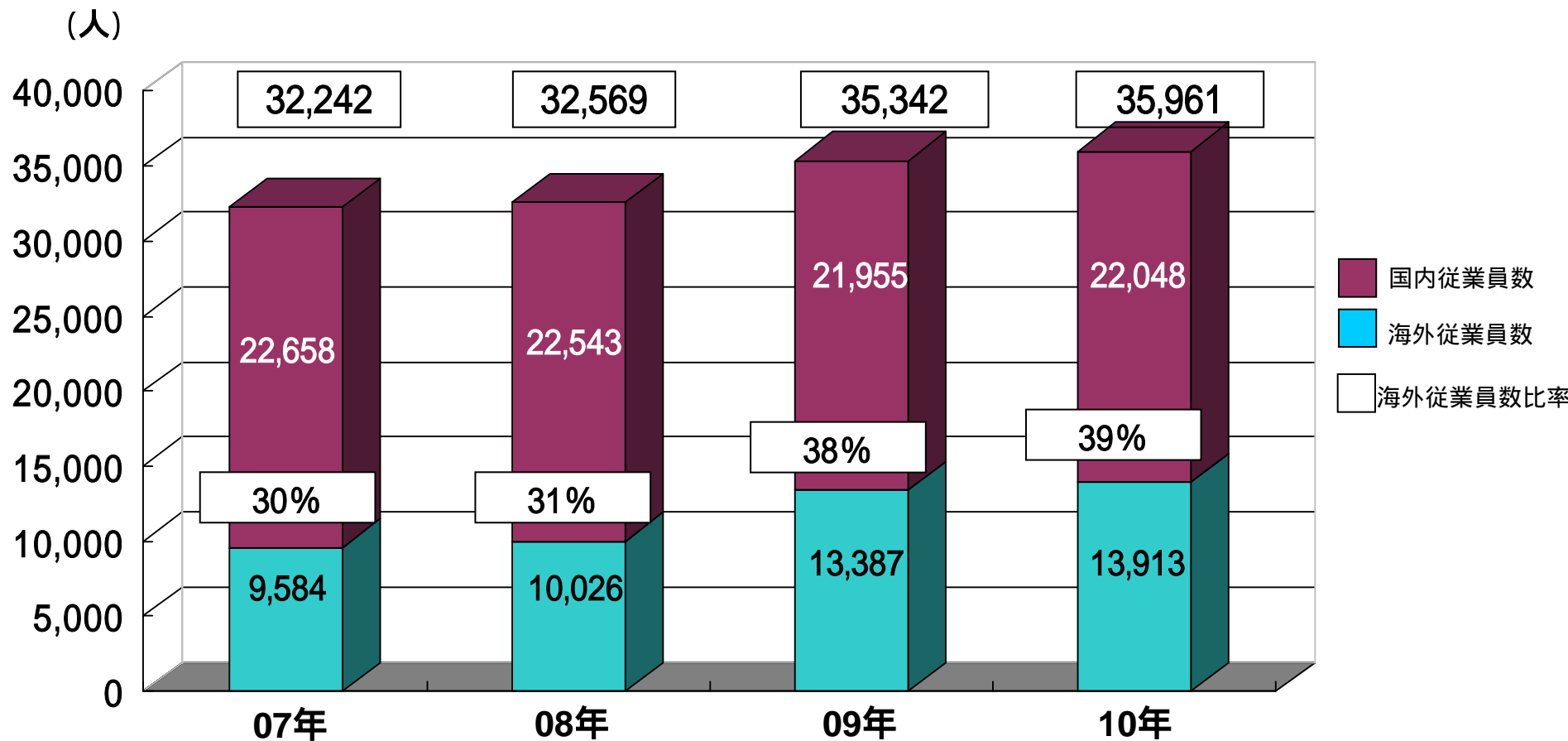
連結子会社数 125社 (海外59社)

# 住友化学グループの売上高推移

(億円)



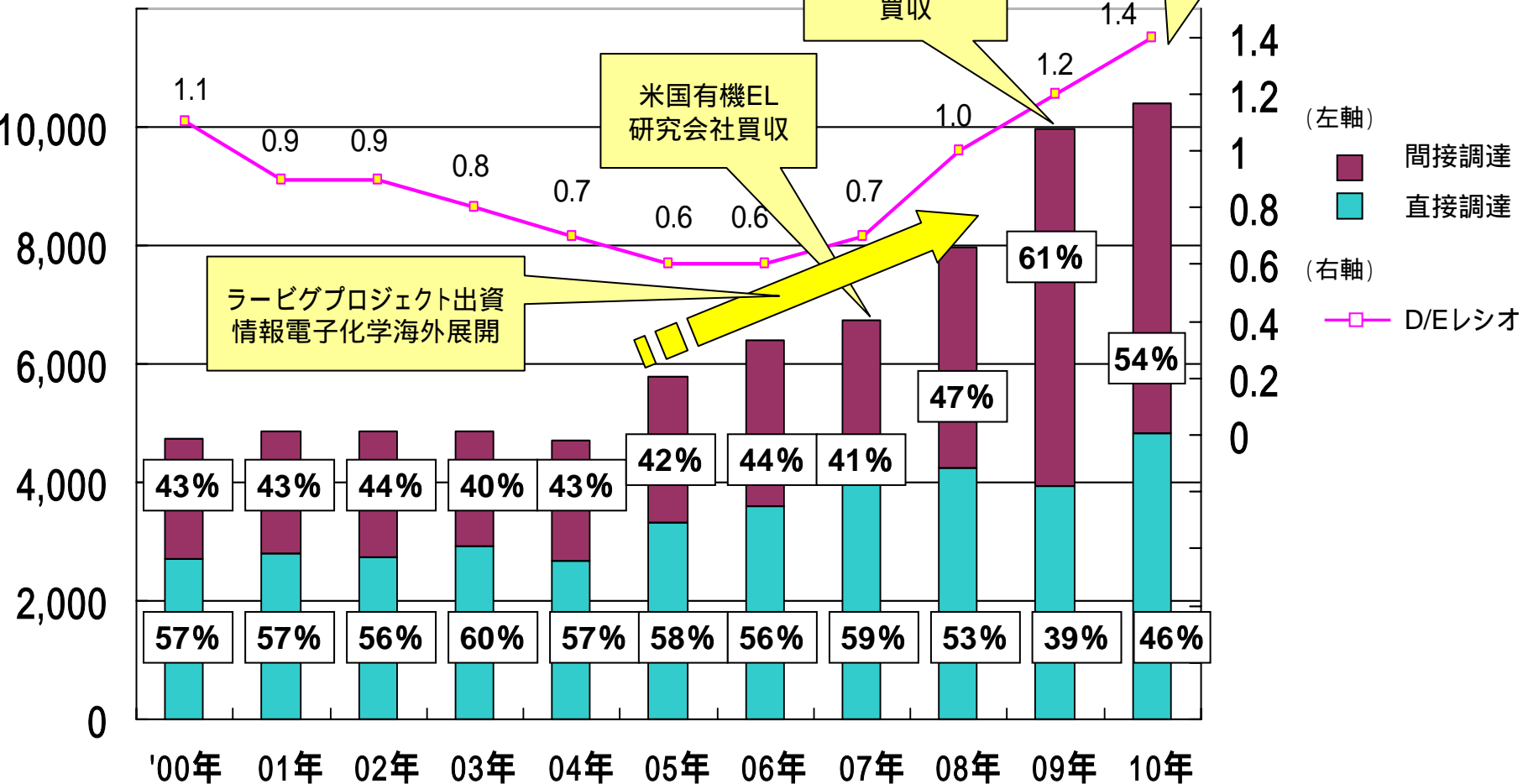
# 住友化学グループの人員数推移



# 有利子負債の状況

(億円)

(倍)








10年度末10,403億円のうち、海外子会社借入残高は505億円(5%)  
外資系銀行からの借入残高は10億円(0.1%)程度

# 海外事業展開に求められる金融サービス

- (1) 事業資金の確保
- (2) 大型投資におけるリスクシェア
- (3) グローバル・キャッシュマネジメント
- (4) 為替リスク管理
- (5) 債権保全のリスクヘッジ
- (6) 海外ネットワーク・情報提供
- (7) 業務効率化への対応



# 当社グループの主なM&A案件と財務アドバイザー

実施時期	案件	財務アドバイザー
2000～2003年	 三井化学との経営統合交渉 (2003年3月に見送りを発表)	外資系証券会社
2005年10月	 大日本製薬(2004年度売上高 1,739億円)と 住友製薬(2004年度売上高 1,423億円)の合併	日興シティグループ証券
2007年 9月	 米国Cambridge Display Technology社買収 (買収価格 約285百万米ドル)	外資系証券会社
2009年10月	 大日本住友製薬による米国Sepracor社買収 (公開買付価格 約26億米ドル)	野村證券 Thomas Weisel Partners
2010年 4月	 豪州Nufarm社への20%出資 (公開買付価格 約610百万豪ドル)	外資系証券会社

各社名は実施当時

# サウジアラビアにおける事業展開

## 「ラービグプロジェクト」

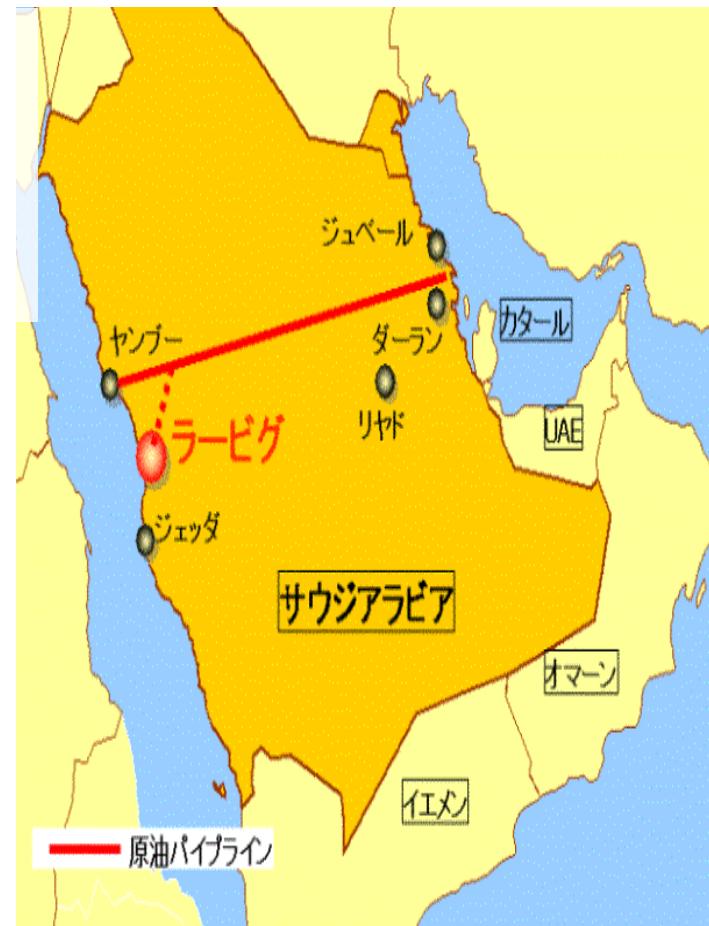
サウジアラビア紅海沿岸の「ラービグ」における世界最大級の石油精製と石油化学の統合コンプレックス。

2005年8月 サウジ・アラムコと  
合弁契約を締結  
9月 合弁会社を設立

2006年3月 銀行団とプロジェクト・  
ファイナンス契約を調印

2008年1月 IPO実施

2009年4月 本格稼働開始



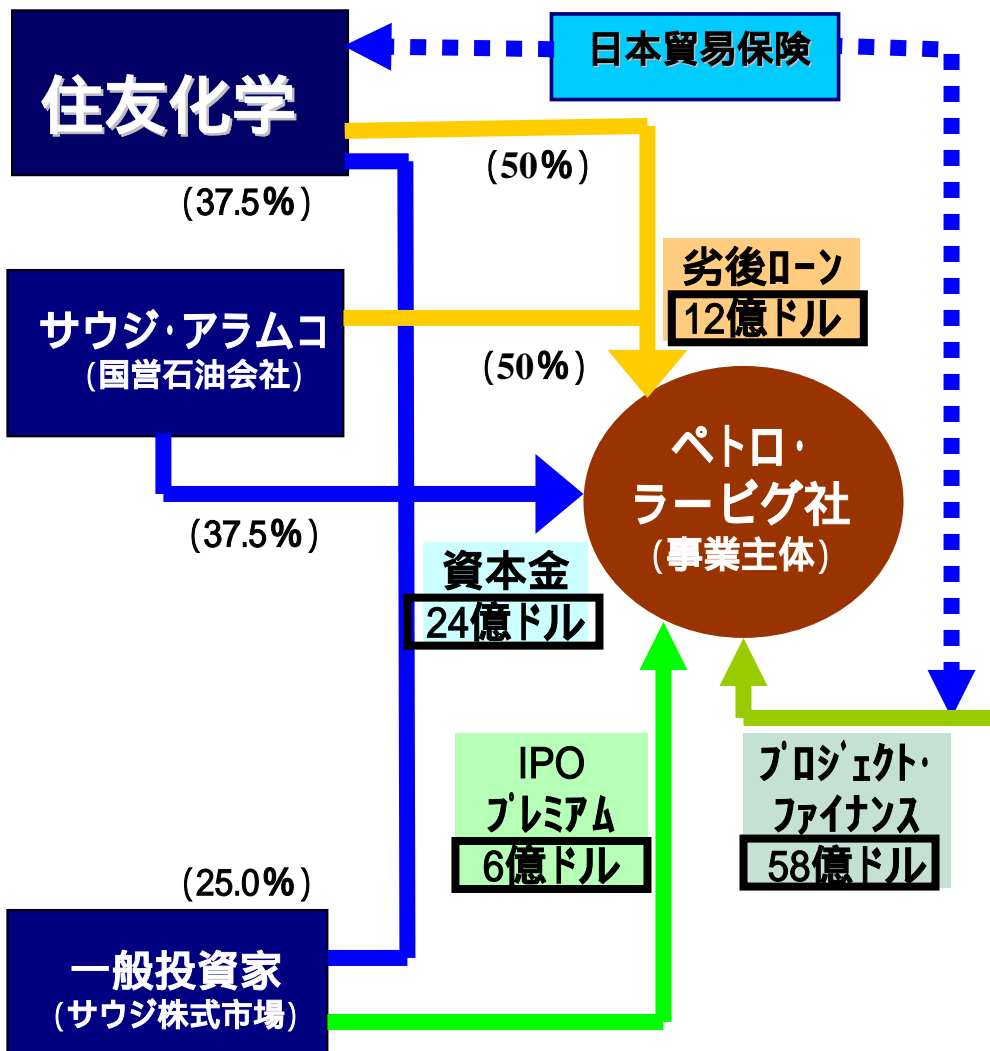


# 合併会社の概要

- |         |   |       |
|---------|---|-------|
| 1. 社名   | Rabigh Refining & Petrochemical Company<br>(略称: ペトロ・ラービグ) |       |
| 2. 設立   | 2005年9月   |       |
| 3. 資本金  | 8,760百万サウジ・リアル  |       |
| 4. 出資比率 | 住友化学  | 37.5% |
|         | サウジ・アラムコ社*  | 37.5% |
|         | 一般投資家   | 25.0% |
|         | *サウジアラビア政府100%出資の世界最大の石油会社                                |       |
| 5. 事業内容 | 石油精製(日量40万バレル)・石油化学の<br>統合コンプレックスの建設、事業運営                 |       |
| 6. 総事業費 | 101億USDドル   |       |

# ラービグプロジェクトの資金調達概要

**総事業費 約101億ドル**



## 政府系

国際協力銀行 (25億ドル)

サウジ系PIF (10億ドル)

## 民間 幹事銀行団 (17行、23億ドル)

### 【日本】

三井住友銀行

住友信託銀行

みずほコーポレート銀行

三菱東京UFJ銀行

### 【アメリカ】

Citibank N.A.

### 【ヨーロッパ】

Calyon (仏)

WestLB AG (独)

BNP Paribas (仏)

HSBC (英)

### 【サウジアラビア・湾岸諸国】

Gulf International Bank B.S.C.

Riyad Bank

APICORP

The Saudi British Bank

Saudi Hollandi Bank

Banque Saudi Fransi

Islamic Development Bank

Bank Albilad

<ファイナンシャル・アドバイザー>  
・三井住友銀行  
・HSBC

# プロジェクト・ファイナンス / FAの役割

FAは以下事項に関してスポンサーに対しサポート・アドバイス行う

## (1) フィジビリティ / ストラクチャリング・フェーズ

- ・プロジェクト・インフォメーションの取りまとめ
- ・ファイナンシャル・モデルの構築
- ・リスク分析と対処
- ・プロジェクト関連諸契約ドラフト
- ・最適ファイナンス・ストラクチャーの構築
- ・金融機関構成(ファイナンス・プラン)の策定
- ・金融機関向けターム・シート作成
- ・インフォメーション・メモランダム作成



## (2) アレンジング・フェーズ

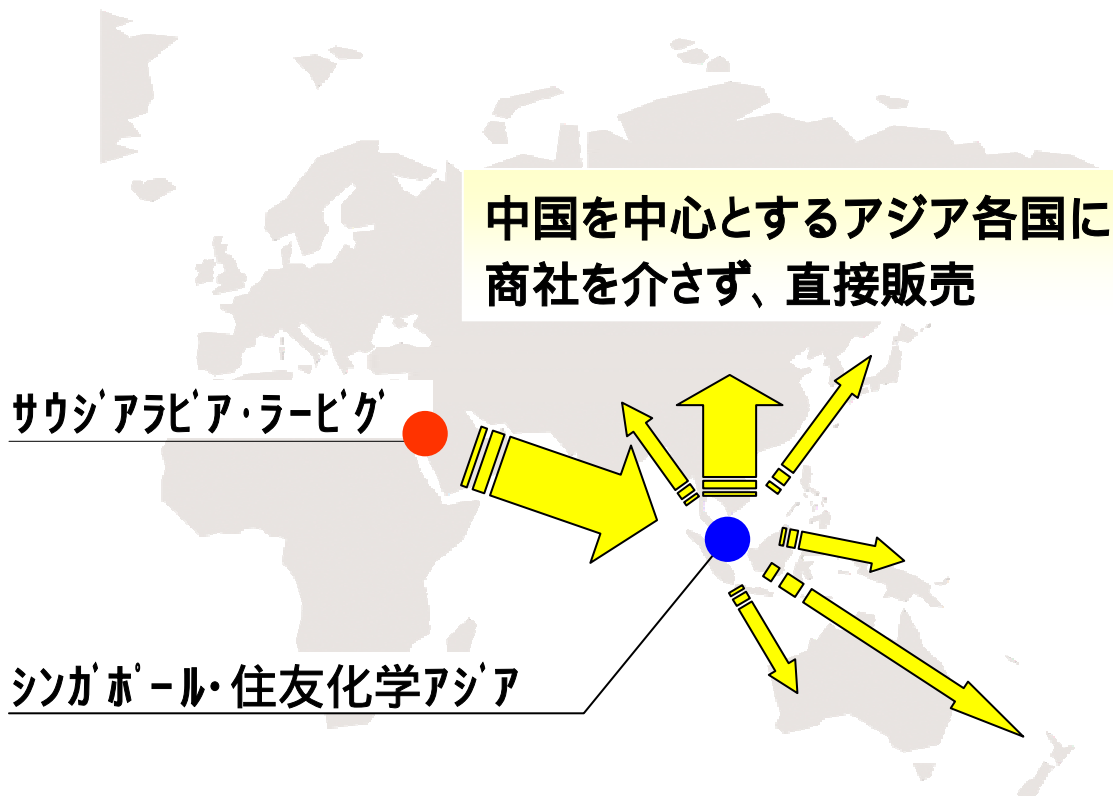
- ・プロジェクト関連諸契約最終化
- ・招聘金融機関候補の選定
- ・金融機関デューデリ
- ・タームシート交渉
- ・金融機関からのコミットメント取得
- ・ファイナンス契約最終化



# シンガポール販売会社における課題

## 住友化学アジア

ペトロ・ラービグ社が製造する石油化学製品のグローバル市場でのマーケティング・販売・物流を統括する販売子会社



## 【住友化学アジアの課題】

(1) 膨大な輸出書類が発生

業務効率化の必要性

(2) 新興国等への輸出

売掛債権保全の必要性

# シンガポール販売会社における課題(1)

## 業務効率化の取組み

### 輸出書類関連業務のアウトソーシング

L/C付き輸出手形による代金決済が大量に発生するため、取引銀行へのアウトソーシングを実施。

#### 【概要】

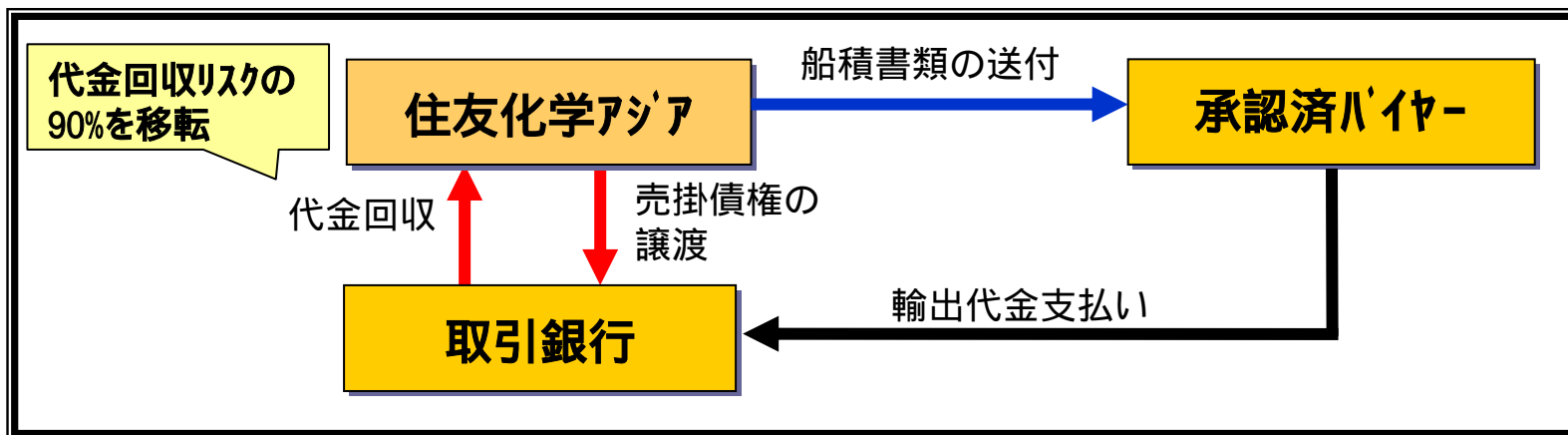
取引銀行	外資系銀行、本邦銀行 各1行
L/C付き輸出手形による主な輸出地	中国、東南アジア諸国、インド、台湾、香港 (カントリー・リスクの高い国は、L/Cコンファームを付与)
アウトソーシング内容	L/Cの通知、L/Cコンファームの付与、 輸出書類作成、輸出手形の買取・取立 等

# シンガポール販売会社における課題(2) 売掛債権保全の取組み

## Receivables Purchase Financing の導入

代金回収リスクを低減するため、オープンアカウント(掛売り)での取引時に利用。バイヤー毎に設定した限度額の範囲内で銀行へ買取りを依頼。

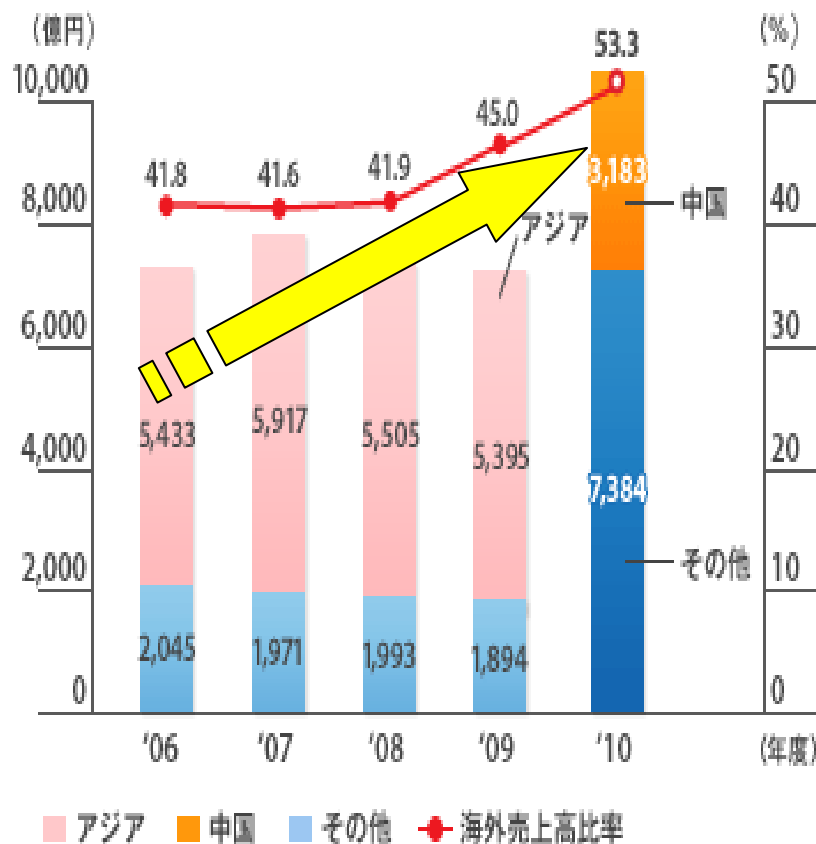
取引銀行	外資系銀行 2行
オープンアカウントによる 主な輸出地	マレーシア、インドネシア、オセアニア



# 当社の中国展開について

## 中国ビジネスの拡大

海外売上高と海外売上高比率



## 中国国内のファイナンス

### 中国グループ会社の資金調達ソース

中国国内銀行(主に邦銀中国現地法人)からの銀行借入

中国当局の諸規制による金融環境の変化(特に資金の流動性・借入条件)には注意が必要

### 投資性会社の活用

本年8月、住友化学投資(中国)有限公司が営業開始

中国グループ会社全体の資金の一元管理等に取り組むことで、グループ経営をサポート

# ユーロ・ミディアム・ターム・ノート(EMTN)プログラム

- ・発行可能額: 20億米ドル 相当
- ・発行通貨: 米ドル、円、ユーロ等(マルチカレンシー)
- ・発行体: 住友化学、金融子会社2社(米・英)
- ・ディーラー: 外資系証券6社  
(BNP Paribas、Citi、Goldman Sachs、HSBC、  
J.P. Morgan、Morgan Stanley)  
日系証券4社  
(Daiwa、Mitsubishi UFJ、Mizuho、Nomura)
- ・プログラム上場: London Stock Exchange

## 金融子会社を活用したグループファイナンスの実施



リーマンショック後、米ドル建てEMTN発行コストが上昇している。

# コミットメントライン

- ・セーフティネットとして、コミットメントラインを設定
- ・EMTNおよびCPのバックアップラインとして位置づけ
- ・外資系金融機関とのリレーションの基盤

## 外資系金融機関

金額: 210億円 (JPY, USD, EUR)

レンダー: シティバンク (エージェント)

HSBC

クレディ・アグリコル

ソシエテ・ジェネラル

スタンダードチャータード

RBS

## 日系金融機関

金額: 800億円

レンダー: 三井住友 (エージェント)

農林中央金庫

住友信託

みずほコーポレート

三菱東京UFJ

**合計 1,010億円**



# 海外取引における日系・外資系金融機関の比較

項目	日系金融機関	外資系金融機関
ローン	低スプレッド	高スプレッド
流動性サポート	安定的	安定的でない
長期的リレーション	安定的	安定的でない
海外ネットワーク	制約あり	強みあり
サービスの多様性	制約あり	強みあり

以上